

明治ホールディングス株式会社

2024年3月26日

報道関係者各位

食品・医薬品業界で初めて、 東京都「心のバリアフリー」好事例企業に選定

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）は、心のバリアフリーに対する従業員の意識啓発などに取り組む企業として、昨年度、東京都「心のバリアフリーサポート企業」として認定登録を受けました。さらに、今年度はその中でも特に優れた取り組みを実施している企業として、令和5年度東京都「心のバリアフリー」好事例企業に選定されました。

「心のバリアフリー」とは、全ての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続けることです。東京都では、従業員の意識啓発に積極的に取り組む企業を「心のバリアフリーサポート企業」として登録しています。



明治グループは、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代のお客さまに向けて幅広い製品やサービスを提供しています。明治グループが、これからも成長し続けるためには、そのような多様なお客さまの気持ちや日々の生活に寄り添うため、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の推進が不可欠です。

多様な人財が能力を最大限に発揮し、さまざまな職務で活躍できる環境づくりを進めるとともに、職場での一体感醸成に向けた全従業員の意識変容や、多様な視点を活かした商品開発に取り組んでいます。

<取り組みの概要>

※明治グループでは障がいのある方を「チャレンジド」と呼んでいます。

■D&Iに関わるeラーニングや全国障がい者週間の取り組み

グループ従業員全員に、アンコンシャスバイアスやLGBTQ+などをテーマにしたeラーニングを定期的実施。D&I推進に向け、従業員の理解促進・風土醸成を図っています。また、全国障がい者週間の取り組みでは、チャレンジド基礎知識セミナーやスポーツ・アスリートによるセミナーなどを開催しています。

■チャレンジド従業員が作る！伝えたいことカルタとインタビュー動画

(株)明治チャレンジド ERG (会社公認の従業員による有志ネットワーク) では、全国障がい者週間において、当事者が伝えたい思いをカルタにして、全事業所に掲示しました。またチャレンジド従業員のインタビュー動画も公開し、うれしい配慮や困っていることなどを話してもらいました。相互理解のもと、働きやすい環境を整えています。



令和4年度「全国障害者週間」

明治チャレンジド 当事者と支援者が「職場のみんなに伝えたいこと」カルタ



障がい者週間掲示ポスター

■多様な従業員の視点を活かし、どんな人も手に取りやすい商品を開発！

人の数だけあるさまざまな思いに寄り添うバレンタインを目指して、昨年より一部商品をダイバーシティパッケージとして数量限定で発売しました。また、一部の商品パッケージにおいて、色覚に障がいをお持ちの方でも包装の絵柄から風味が分かりやすいように改良しました。



2023年に発売した「明治ミルク
チョコレート CUBIE」



今年発売した「マーブルパウチ
ダイバーシティパッケージ」

明治グループは今後も D&I を推進し、従業員一人一人がよりいっそうやりがいを持ってイキイキと働ける風土のもと、「meijiらしい健康価値」を日本・世界のお客さまにお届けしてまいります。

【参考情報】

- ・ 明治グループのダイバーシティ&インクルージョンの推進について
https://www.meiji.com/sustainability/society_creation/talent/#content-6
- ・ 明治グループダイバーシティ&インクルージョンポリシー
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/society_creation/talent-d_i_policy.pdf
- ・ 障がい者雇用率
<https://www.meiji.com/sustainability/esg/?active-tab=tab-4#talent-link-1>
- ・ 東京都「心のバリアフリー」サポート企業連携事業
<https://kokorobf-support.tokyo/index.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
TEL：03-3273-3917 メールアドレス：mhd-pr@meiji.com